

# 日本政策総研 みやわき経済3分レポート(No.2)(毎週発行)



日本政策総研代表取締役社長  
宮脇 淳

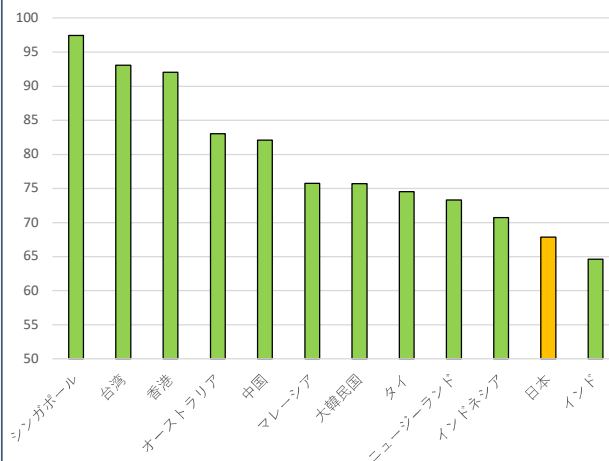
ご質問・さらに知りたいは、  
QRコードからご連絡ください

## 世界の経営者、日本への投資魅力35番目と判断

スイスにある国際経営開発研究所が発表した「世界競争力ランキング2023」で日本は世界35番目、アジアの中でもインドネシアに次いで11番目で毎年順位が低下しています。世界各国の経営者に国としての魅力度をアンケートした結果で、日本では「経営慣行」と共に「政府による規制」などが地域としての魅力度を下げる要因となっています。

(資料)国際経営開発研究所「世界競争力ランキング2023」

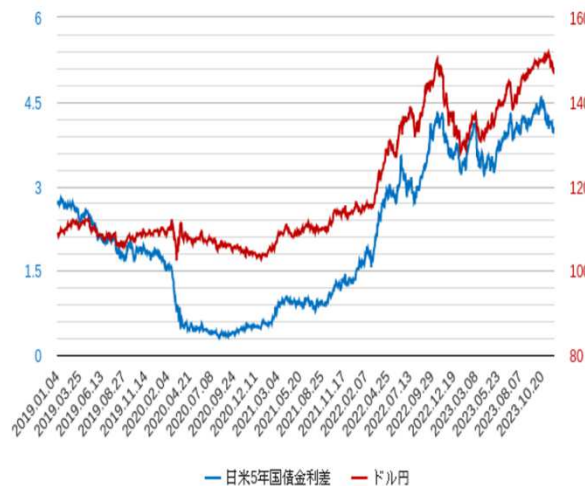
## アジア内総合評価点



## 日米5年債金利差縮小傾向、日銀出口戦略模索

為替市場では、日米の5年債による金利差が重要な判断材料とされます。FRBは「5年期待インフレ率」を金融政策判断の重要指標としているからです。5年債の金利差が米国のインフレ減速と日銀の政策転換模索で今年10月以降徐々に縮まっており、12月には円相場も140円台となっています。日銀も出口戦略を慎重に模索しており18-19日銀会合がひとつのカギとなります。

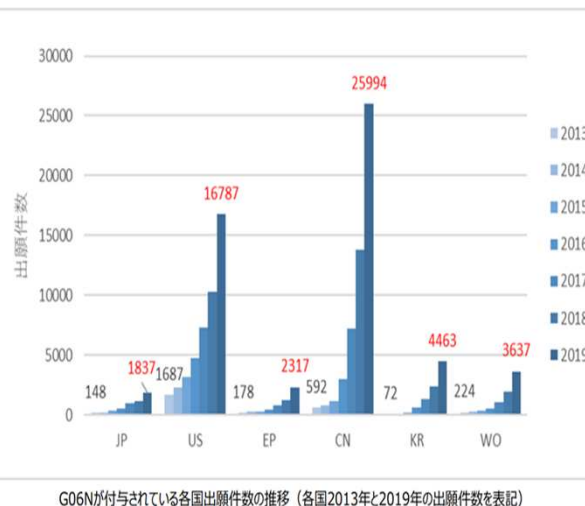
(資料)株式マーケットデータより。



## AI深層領域の競争激化、中国特許戦略強化

AI活用が急速に進む中で、AIの心臓部である深層領域での特許出願競争が中国先導で激化しています。AIは、学習データと思考プロセスによって構成されます。その中核である思考プロセスに関する特許出願が中国がトップで二番手で米国が続きます。日本は、先進国の中で出願数では極めて低位で、技術開発と同時に国家的な特許戦略が必要となっています。

(資料) 経済産業省資料より作成



G06Nが付与されている各国出願件数の推移 (各国2013年と2019年の出願件数を表記)

内容に関するお問い合わせ : (株)日本政策総研 業務企画部

TEL: 03-3830-0611/ FAX: 03-3830-0612

e-mail: miyawaki@j-pri.co.jp

ご質問QRコードが読み取れない場合は右記URLからご登録ください⇒ URL:<https://forms.gle/H7jdEftkQ4S87nNC6>